

福西会病院 広報誌

FUREAI

ふれあい

Fukuseikai Hospital
Public relations magazine

Vol.67

ご自由に
お持ち帰り
ください



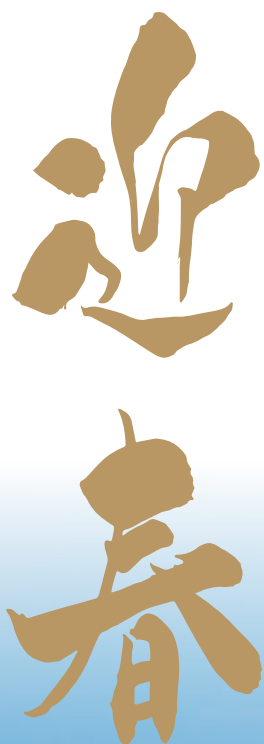
[巻頭ページ]

新年のご挨拶

麻酔科特集

home page





明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願い申し上げます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、皆様のご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

2026年は情熱や変化を象徴する年とされる「丙午:ひのえうま」ですが、果たして医療にとっての「令和の丙午」はどのようなのでしょうか。病院を取り巻く環境も私たちの予測をはるかに上回る変化がもたらされるに違いありません。今年は診療報酬の大改定の年になりますので、ますます気になるところです。

さて最近では医療を取り巻く状況と課題が盛んにニュースで取り上げられています。特に人口動態変化が医療に及ぼす影響は大きなものです。出生率低下により人口は減少し、高齢化が加速しています。社会保障制度や労働力維持、社会インフラの老朽化加速など2040年に向けた複合的な社会課題により、現在の病院機能や役割、経営方針を15年後も継続して運営できる病院は非常に限られると言わざるを得ません。個々の病院の特色を

2026



生かしながら、患者さんに提供する医療の在り方を考える必要があると思います。当院は、主に急性期患者さんの早期安定化に向けての医療を今後も提供していく予定です。

さて福西会病院では、今年の秋に6回目の病院機能評価を受審しますので、現在それに向けて全職員で取り組んでいるところです。これは中立的な立場で医療機能の評価を受けるもので、その結果得られる課題改善により更に信頼される病院づくりにつながり、地域医療の質向上にも寄与すると考えています。当院は、このように様々な取り組みを通して、理念である「誠実で信頼される医療」を実践します。

本年も職員一同、患者さんの健康と安心を最優先に考え、より良い医療サービスの提供に努めてまいります。

どうぞ変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

病院長

岩崎 昭憲



麻酔科をもっと知ろう！

【麻酔科の役割】

病院にはさまざまな診療科があります。消化器内科や泌尿器科などは名前からイメージしやすいですが、「麻酔科」と聞くと、「手術のときに眠らせてくれる科?」というボヤっとした印象を持たれる方も少なくないかもしれません。実際の麻酔科は、患者さんが痛みを感じず、安全かつ安心して手術を受けられるよう全身状態を細やかに管理する専門科です。手術中の麻酔だけでなく、術前の準備や術後の痛みのケアを通して、患者さんの不安をやわらげ、快適な治療を支えています。

【麻酔科医の仕事の流れ ～手術前から手術後まで～】

麻酔科医は、手術の最初から最後まで患者さんを見守り、安全で安心な手術をサポートします。

手術前

手術に向けて、既往歴や持病、内服薬、アレルギーの有無などを丁寧に確認し、その方に最も適した麻酔方法を計画します。同時に、麻酔の方法や起こりうる偶発症についても事前に説明し、不安を軽減できるよう努めています。



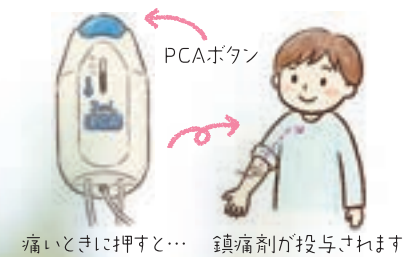
手術中

麻酔薬で意識や痛みをコントロールしながら、呼吸・血圧・心拍・体温など全身の状態をリアルタイムで監視します。身体の変化に応じて麻酔薬の量を微調整し、手術が安全かつスムーズに進むよう対応します。また、術後の痛みを抑えるために、全身麻酔に硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・神経ブロックなどの局所麻酔法を併用することもあります。



手術後

患者さんが術後の回復期間を快適に過ごせるよう、痛みのコントロールを継続します。当院では、ディスプレイ式PCA（患者自己調節鎮痛法）を導入しており、患者さん自身のボタン操作で適切な量の鎮痛薬を投与でき、痛みを我慢せずに過ごせます。



【麻酔の種類】

手術で使用する麻酔には、さまざまな方法があります。患者さんの体の状態や手術の内容に応じて、最適な方法を選択し組み合わせています。

全身麻酔

意識を完全に失わせ、痛みを感じない状態にする麻酔です。大きな手術や長時間にわたる手術で用いられます。



脊椎麻酔（脊髄くも膜下麻酔）

腰のあたりから麻酔薬を注入し、下半身の感覚を一時的に失わせます。主に下腹部や下肢の手術に使用されます。



硬膜外麻酔

背中に細いチューブを挿入して麻酔薬を持続的に投与する方法です。術中だけでなく、術後の鎮痛にも優れた効果があります。



神経ブロック

痛みを伝える神経の周囲に局所麻酔薬を注入し、痛みの信号が脳に届かないようにする方法です。手術時に行うことで術後痛の軽減を図るほか、慢性的な痛みの治療にも用いられます。



痛みで悩む方のために

【ペインクリニック外来】



麻酔科の役割は手術だけにとどまりません。当院では毎週火曜日にペインクリニック外来を開設し、腰痛・坐骨神経痛・帯状疱疹後神経痛など、慢性的な痛みに対する診療を行っています。ここで行われる神経ブロックは、痛みを伝える神経に局所麻酔薬を注射し、痛みの信号が脳へ届くのを遮断する治療法です。一時的に痛みを止めるだけでなく、血流の改善や筋肉の緊張緩和により「痛みの悪循環」を断ち切ることで、長期的な症状の改善も期待できます。また、ブロック治療によって痛みが軽減するかを確認することで、痛みの原因を特定する手がかかりにもなります。

Message

麻酔科からのメッセージ

たかはし とおる
麻酔科部長 高橋 亨

麻酔科は、常勤医2名・非常勤医3名で、年間約1,200～1,300例の術中麻酔管理（毎日3名体制）と週1回のペインクリニック外来をこなしています。

手術を受けられる患者さんに、私たち麻酔科医が術前診察を行います。偶発症等の説明をすることで、不安を与えてしまうことがあります。それを手術室の看護スタッフが別で術前訪問した際に、軽減してくれていることに日々、感謝しています。



麻酔科って
何するの？

01 福西会グループ施設の紹介

[グループホームふれあい]

グループホームふれあいは、認知症の高齢者が少人数で共同生活する介護施設です。1階9名・2階9名の計18名で生活しています。小規模な施設ならではの家庭的な雰囲気で落ち着きやすく、他の入居者やスタッフとコミュニケーションを取りやすい環境になっています。

グループホームの入居条件は以下の通りです。

- ・要支援2 もしくは要介護1～5の認定を受けていること
- ・認知症の診断証明書を持っていること
- ・入居を希望する施設と同一の市区町村に住民票があること

グループホームの主なサービス内容は以下のとおりです。

- ◎食事、入浴、排せつなどの身体介護
- ◎買い物や調理、掃除、洗濯などの生活援助および見守り
- ◎レクリエーション
- ◎地域との交流、イベント参加

介護専門スタッフが24時間常駐するなかで、入居者の方々自らが、掃除や洗濯ものたたみ・買い物など家事を行ったり、地域との交流に参加したりと、安心して日常生活を送られています。スタッフも、入居者の方々が趣味活動など個性と能力を活かし日々楽しんでいただけるよう努めています。



近所でお買い物



外出ドライブ



趣味活動



保育園の慰問

02 福西会病院 入院患者さん向け 無料Wi-Fiサービスを開始しました。

かねてより多くのご要望をいただいていた無料Wi-Fiサービスを、2025年12月より提供開始いたしました。ご利用の際は、病室やデイルームに設置している利用規約をご確認のうえ、ご自由にお使いください。



03 福西会病院 [地域医療連携室] 第12回 福西アーベント「医療連携の集い」開催!

開催場所：ホテルニューオータニ博多

2025年10月22日(水)、第12回福西アーベント「医療連携の集い」を開催。地域の診療所・病院の医師をはじめ関係者の方々をお招きし、当日は61施設、計78名という多数の出席を賜りました。

開会后、当院泌尿器科部長 平DRより「前立腺肥大症に対するWAVE治療」、当院放射線科部長 山下DRより「当院の放射線科紹介」、当院救急科部長 紙谷DRより「当院の救急体制について」以上の3講演を行いました。その後、懇親会は飲食・歓談の場として進行していきました。

普段なかなか顔を合わせることができない先生方にも多数ご出席いただき、終始和やかな雰囲気の中、歓談を楽しまれているようでした。「顔の見える連携」として、こうした機会を提供できたことに感謝申し上げます。

当院はこれからもこのような場を設け、地域との連携を強化していく所存です。ご出席いただきました方々、まことにありがとうございました。



医療の架け橋 ―地域の医療施設紹介― のだクリニック

住所:〒814-0161 福岡県福岡市早良区飯倉6-22-31
TEL:092-834-7220
診療科目:消化器内科、肛門外科、内科、外科



マスコットキャラクター「のだぼん」の看板が目印です。



ホームページは
こちらから

長年、福西会病院で消化器外科医として勤務されてきた野田尚孝先生。地域により近い立場で患者さんと関わりたいという思いから、2024年10月に「のだクリニック」を開業されました。まだ新しいクリニックですが、早くも「話しやすい先生」として、近隣の皆さまから信頼を集めています。今回はご多忙の中、開業までの思いや、地域医療への考えを伺いました。



やさしくあたたかなスタッフの方々が、皆さまをお迎えします。

開業のきっかけはなんですか？

開業を意識し始めたのは、4～5年ほど前からです。親戚や友人にも開業医が多く、地域の方とより近い関係を築いている姿に以前より興味がありました。そのような気持ちが膨らんだ結果、外科医として長く勤めた環境を変え、新しいことにチャレンジしてみたいと思うようになりました。

この場所を選ばれた理由は？

以前勤めていた福西会病院で診ていた患者さんとのつながりを大切にしていたので、なるべく近い場所を探していました。なかなか良い場所が見つからず2年以上かけて探した結果、最終的にこの場所に会えて本当に良かったと思っています。

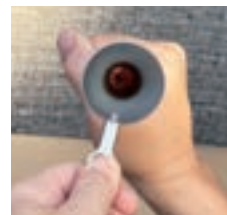
マスコットキャラクターもかわいいですね!

かわいいでしょ。待合室にいるお腹の大きな信楽焼のタヌキがモデルなんです。“お腹の診察はおまかせください”という思いを込めたロゴでもあります。名前は「のだぼん」。いつの間にかそう呼ばれるようになりました。



クリニックの特徴や強みを教えてください

お腹の疾患に限らず、風邪や生活習慣病などの一般内科診療も行っていますが、外科医としての経験を活かして、いろいろな疾患を内科的・外科的の両面から診ることが出来ます。検査や外科的な処置が必要な場合も、治療の流れや見通しをわかりやすく説明するよう心がけています。また、この地域では痔などの肛門疾患を専門的に診るクリニックが少ないため、「おしりの相談ができる身近な窓口」としてもお役に立てればと思っています。



肛門鏡などの医療機器を用い、外科的知識も活かして診察にあたっています。

のだクリニック院長 野田 尚孝

外科医として長年、がん治療などに携わる。祖父も父も医師であり、自身も同じ道へ。外科系を志したきっかけは、子どもの頃に読んだ「ブラック・ジャック」の影響かもしれないとのこと。現在は地域のかかりつけ医として、幅広い診療に力を注いでいる。休日は家族と買い物をしたり、愛猫と過ごしたりしてリフレッシュ。時間に余裕ができたなら、趣味の釣りや旅行も再開したいそうです。



どのような診療に力を入れていますか？

胃カメラ・大腸カメラといった内視鏡検査に力を入れています。「内視鏡検査は苦しそうで怖い」という印象があるようですが、当院では希望により鎮静剤を使用して眠った状態で楽に検査を受けることができます。健診で異常を指摘されて受診される方も多く、検査件数は年々増えていますね。また、皮膚の小さな腫瘍や痔の日帰り手術なども行っています。入院や専門的な治療が必要な場合は、適切な医療機関をご紹介します。検査においてもCTなどの大掛かりな画像検査が必要な際は、福西会病院にお願いしています。



内視鏡機器完備。患者さんの負担に配慮した検査も可能です。

福西会病院とは今も関わりがあるんですね

はい。週1回、水曜日に福西会病院で診療を行っています。その際にクリニックの患者さんの精密検査をお願いしたり、当院から紹介して入院となった方の様子を見に行ったりしています。病院の先生方やスタッフの皆さんとは長年の付き合いがあり、いつでも相談できる関係を続けられていることに感謝しています。

医療に対する理念やポリシーを教えてください

「不安を抱えて来られた患者さんが、安心して帰れるように」という思いを持って診察しています。そのために、医師としても一人の人間としても、“正面から向き合うこと”を何より大切にしています。これからAIが医療に活用される時代になっても、疾患だけでなく、本当の意味で“人を診る”ことができるのは、やはり人間だと思っています。患者さんとの信頼関係、スタッフとのチームワーク—どれも欠かせない大切な要素です。



空気清浄機を備えた落ち着いた待合室で、患者さんも安心してお待ちいただけます。

今後の目標を教えてください

地域の「なんでも屋さん」として幅広い相談に応じながら、消化器系の専門性もさらに高めたいと思っています。開業してまだ1年と少し。これからも地域の皆さんの健康を支えるクリニックとして成長していきたいですね。

最後に、患者さんへメッセージをお願いします

どんな小さなことでも、健康のことで気になることがあれば、いつでもご相談ください。地域の皆さまに末永く信頼されるクリニックであり続けられるよう、スタッフ一同、これからも丁寧な診療を続けていきます。



～ノロウイルスの「感染症」について～

本格的な冬の季節になりましたが、皆様いかがお過ごしですか。
この季節になると乾燥など、体調管理に気をつけないといけませんが、
冬の食中毒ならでは「ノロウイルス」の感染症にはより注意が必要です。
今月はそんな冬の大敵である「**ノロウイルス**」をテーマにお話します。

「ノロウイルス」とは？

感染性胃腸炎の原因となるウイルスの1つで、少量でもヒトの腸管で増殖し、**感染力がとて強い**のが特徴です。
1年を通して発生しますが、特に**11月～3月**にかけて流行します。
主に手指や食品からの経口感染で、幼稚園・保育園や学校、病院などにて集団発生を引き起こしやすいウイルスです。

もし、感染してしまうと・・・

ノロウイルスの潜伏期間は24～48時間であり、特徴的な症状として、**激しい吐き気・嘔吐・下痢・腹痛・発熱**などが挙げられます。発熱はあっても高熱が出ることはあまりなく、37～38℃程度です。また、これらの症状は通常1～3日で回復することが多いです。しかし、症状が消えても1週間ほどは感染者の便に排出される為、徹底した感染対策が必要です。

ノロウイルスの予防4原則

01 持ち込まない

調理者が下痢、腹痛などの症状がある際には、食品を取り扱う作業は控えること。

02 につけない

しっかり石鹸をつけて手を洗い、十分な流水で流すこと。

注意:アルコール消毒のみではあまり効果がありません。

【手洗いのタイミング】

帰宅時・調理前・食事前・トイレ後

03 拡げない

二次感染予防を徹底すること。
アルコールではなく、塩素消毒液(右ページを参照)などを用いて、手が触れる部分や汚染したところを拭きましょう。

04 やっつける

食品などは、中心温度が**85℃～90℃で90秒以上**の加熱をする。

主な原因食品は、牡蠣やアサリなどの「二枚貝」です。しっかり加熱をすれば感染は防ぐことが出来ますが、新鮮でないものや加熱が不十分な状態のものを食べてしまうと、感染リスクが高まります。
特に高齢者や子ども、体調の優れない方は十分注意が必要です。



～これからの季節に気をつけたいその他の食中毒～

カンピロバクター

◎原因食品…鶏肉など

十分な加熱(75℃以上1分以上)で死滅

- 鶏肉を調理する際は、中までしっかり火が通っているか確認をしましょう。
- 二次感染予防として、肉類を取り扱った後は手指をよく洗い、使用した調理器具は熱湯などで消毒をし、よく乾かしましょう。
- 肉の入っていたトレーを洗う際は、周囲の調理器具に飛び散らないよう、十分注意しましょう。



ウェルシュ菌

◎原因食品…調理済み食品など

よく混ぜながら加熱することで死滅

- カレーやシチューなどを、後日食べる際は「温める」だけでなく、しっかり混ぜながら十分に加熱をし、菌を無くしましょう。



★「塩素消毒液」は自宅にあるもので簡単に作ることが出来ます★

[準備するもの]

- ◎500mlのペットボトル
- ◎家庭用塩素系漂白剤(ハイターなど)
- ◎水

[作り方]

- ◎500mlのペットボトルに水を入れる。
- ◎約10ml(ペットボトルキャップ2杯)の家庭用塩素系漂白剤を混ぜ合わせる。



**寒さにもノロウイルスにも負けずに
新年をよい年にしましょう!**

知るとうれしい リハビリニュース [リハビリテーション科]

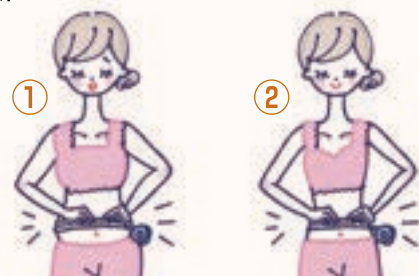
腰痛予防について 腰痛がある方も 腰痛がない方も…

今回は「腰痛」をテーマにその予防方法をご紹介します。
 労働災害でも最も多いといわれている「腰痛」。皆様もご経験がありませんか？

腰痛の原因は、主に特異性と非特異性に分類されます。

- ◆特異性とは… 器質的な原因があって症状が出現するものを指します。
椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などレントゲン・MRIなど画像にも表れます。
- ◆非特異性とは… 機能的な原因によるものを指します。
いわゆる筋肉や腱の炎症が原因になります。
画像所見に表れにくいことが多いようです。

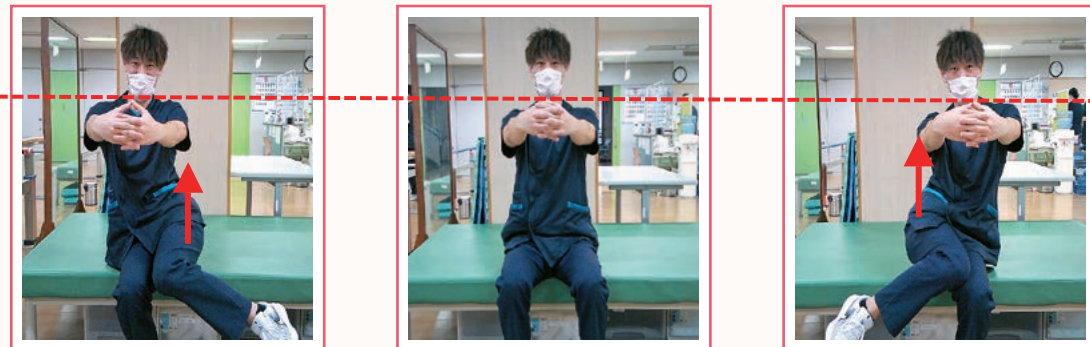
腰痛全体の約7割が非特異性腰痛であることが報告されています。
 腰痛の原因には筋力低下が深く関係します。皆様もご自分の腹囲を測ることで簡単に腹筋の状態を把握できますよ！



左のイラストを参考に
 セルフチェックしてみましょう！

- ①力をぬいてウエストを測る。
- ②思い切りお腹を引っ込めてウエストを測る。

結果:7cm以上の差があった方は要注意です!!
 著しい筋力の低下が疑われます。しっかりストレッチと筋トレを行って腰痛予防を積極的に行っていきましょう。
 最後に効果的な運動をご紹介します。



肩の高さを変えずに片方のお尻を浮かせて腰周囲の筋肉の収縮を促します。
 左右片側ずつ5秒キープで5回程度から始めてください。
 床に足を伸ばして座って「お尻歩き」をすることも有効です。是非お試しください。

わ・た・し Channel Vol.07 ~私たちのリフレッシュ法~ 臨床検査科

明けましておめでとうございます 心も体も健康第一!今年も臨床検査科は、仲良く、朗らかに上手に息抜きをしながら、 患者さんへの真心を忘れずに、研鑽に励み前進して参ります!今年もよろしくお願い致します。

~私のリフレッシュ法~

芸人さんのラジオを聴く

私は昔からお笑い番組を見るのが大好きだったのですが、子育てが始まるとなかなかそんな時間は持てなくなってしまいました。

そこで寝かしつけの時、片耳で好きな芸人さんのラジオを聴くことでお笑い欲を満たしています。ただ、笑いすぎると眠れなくなるので注意です。最近よく聴くのは「安住紳一郎の日曜天国」という番組で、視聴者から寄せられる日常のクスッと笑えるエピソードが心地よく、寝る前にちょうどいいです。

[検査科:Pさん]

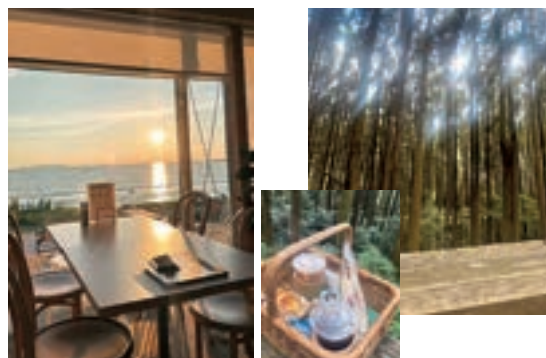


~私のリフレッシュ法~

カフェ巡りをしてのんびり過ごす

カフェ巡りをしてのんびり過ごす時間が私の息抜きです。薬院や天神のカフェを中心に行くことが多いですが、最近は自然の景色が見えるカフェにハマっていてよく行きます。特に糸島にある森の中のカフェや、福津の海辺のカフェでのランチがとても良く、お気に入りのカフェの1つになりました。

[検査科:Kさん]



~私のリフレッシュ法~

大好きな紅茶でティータイム

休日の少し遅く起きた朝は、大好きな紅茶選びから始まります。その日の気分により茶葉を選び、ミルク、レモン、生姜、蜂蜜、フルーツ等をトッピングして楽しみながら、ゆっくり朝食をとることで慌ただしい日常を忘れ、心と体をリセットしています。紅茶の中には、渋みや旨味成分の元であるタンニン(カテキン)、紅茶特有の色素で、強い抗酸化作用のあるテアフラビン・テアルビジン、リラックス効果のあるテアニン、覚醒作用のあるカフェイン、その他ビタミンB群やビタミンK、ミネラルが含まれています。体に良いものも多く含まれているため、皆さんも是非!好みの茶葉を選んでリフレッシュしてみてください。

[検査科:Uさん]



~私のリフレッシュ法~

野球観戦(もちろんホークス戦)

野球観戦をすることが私のリフレッシュ法です。福岡県民として、もちろん福岡ソフトバンクホークス一筋です。一人暮らしの時は全試合録画して何度も見返していましたが、今はクライマックスシリーズ・日本シリーズのみでとどめています。開幕と球場でのビールが待ち遠しいです。

[検査科:Fさん]



LINE公式アカウントを
開設いたしました

福西会病院からの各種ご案内等を中心にお届けいたしますので、ぜひお友達登録をお願いいたします。



▲
アクセスは
こちらから

幅広い
時間で
受診可能

午前・午後の
診療担当医のご案内YouTubeチャンネルを
開設いたしました

楽しくてためになる動画を追加していきます。ぜひチャンネル登録をお願いいたします。



▲
アクセスは
こちらから

詳しくはホームページで検索

福西会病院

検索



交通アクセス

公共交通機関

地下鉄七隈線 野芥駅にて下車(2番出口すぐ)

西鉄バス 野芥駅前にて下車(降りてすぐ)

都市高速から

野芥ランプから 【内回り】福岡高速5号線・野芥ランプより、外環状線を直進「野芥口」交差点を越え側道へ…約3分

【外回り】福岡高速5号線・野芥ランプより外環状線を直進「野芥口」交差点右折……………約1分

福西会病院 パーキングマップ



福西会病院の駐車場は周辺に第1、第2、第5があります。
※地下駐車場は、廃止となりました。



医療理念

誠実で信頼される医療

基本方針

1. 救急病院として地域社会・地域医療に貢献します
2. 患者さんと共に安全・安心なチーム医療を行います
3. 積極的な医療・介護連携を目指します
4. 医療人として常に自己研鑽をします

患者さんの権利

1. 個人としての人格が尊重される権利
2. 質の高い医療を公平に受ける権利
3. 真実を知る権利、または、真実を知らされない権利
4. 病状や医療内容について、十分に説明を受ける権利
5. 医療行為を、自分の意思で選択する権利
(セカンドオピニオンを受ける権利)
ただし、医学的に不適切な医療を求める権利はありません。
6. 医療情報の開示を求める権利
7. 個人情報保護される権利

患者さんの責務

1. ご自身の状態やその変化など正確な情報を医療従事者へ報告する責務
2. 治療に必要な医療上の指示を守る責務
3. 病院の規則を守り、快適な医療環境を維持する責務
 - 禁酒、禁煙
 - 他の患者さんへの迷惑行為の禁止
 - 職員への暴言・暴力・セクハラ・業務妨害などの禁止
4. 自己負担金を支払う責務



「健康経営」の促進を目的として、優れた健康経営の取り組みを行っている事業所を経済産業省が選定・認定する制度「健康経営優良法人」において、当法人が4年連続で大規模法人部門に選ばれました。